

業界団体から発表いただきたい事項（案）

I 発生抑制についての基本的な考え方と業界としての取組

1 業種業態の違いによる食品廃棄物等の発生に与える影響

【例】

- 有価で取引される食品廃棄物等（副産物）があるか、可食部があるか、テイクアウトがあるか、他社・海外で調理された食材等を仕入れる場合（転売）があるか 等
- 食品廃棄物等の発生の場所（肉・野菜の加工場、商品の廃棄場等）によって、発生する食品廃棄物等の質や量、タイミング、発生抑制のし易さなどに違いがあるか

2 業界毎の食品廃棄物等の発生量の把握方法の事例

【例】

- 副産物出荷時にトラックスケールによる計量
- 各事業所にて毎日秤により計量
- 全店舗にて曜日の異なる7営業日を抜粋し平均年間発生量を推計

3 業界毎の発生抑制の取組と特徴

【例】

- 売上による発注数の加減と早めの値下げ販売による無駄な廃棄の削減【スーパー】
- POSシステムの有効的活用による発注予測の精度向上【コンビニ】
- ドギーバックの採用やフードバンクへの提供【ホテル】

II 発生抑制の目標値の設定方法に関する意見・要望

1 定期報告の報告内容の変更について

【例】

- 「I」の「1」、「2」を踏まえ、定期報告の様式をどのように変えれば、業界への過度な負担を回避し、適切な目標値を設定できるか等

2 業種の考え方（業種の区分をどのように考えるか）

【例】

- 定期報告における「小分類」が適切か、「細分類」に区分すべきか、数業種を一括りにすべきか等

3 業界自主基準の策定の可能性について

III その他、発生抑制の目標値の設定にあたり、業界として関係者（行政、消費者、再生利用事業者等）への意見・要望 等